

## 学連間ミーティング 報告書

### 【日時】

12月2日（木） 17時20分～18時30分（70分間）

### 【参加者】

日本学生陸上競技連合 常任幹事

日本学生トライアスロン連盟 幹事長

日本学生オリエンテーリング連盟 副幹事長 佐藤俊

### 【場所】

早稲田大学学生会館会議室

### 【ミーティングの趣旨】

- スポーツの枠を越えた学生連盟同士が交流することにより、客観的な視点で学連を捉え、ノウハウを共有し、ひいては学連の普及発展に寄与する。

### 【組織形態】

#### （陸上連合）

- 日本学連一地区学連というピラミッド構造は同じだが、実質的に関東学連＝日本学連。
- 加盟員が多いのは関東学連：6,600人、少ないのは北信越学連：640人。全国合計で17,000人ほど。
- 総会は年4回、それ以外に幹事会的なミーティングは隔月開催。
- 加盟登録費は5,000円/人

#### （トライアスロン連盟）

- 日本学連一地区学連という構造は同じ。
- 加盟員は700人ほど、総会・幹事会の回数もUOFJとほぼ同じ。
- 加盟登録費は4,000円/人

### 【目下の課題】

#### （陸上連合）

- 組織の公益法人化について2年後を目処に調整中。
  - ◇ 将来、UOFJが公益法人化を検討する際に参考になる？  
（但し公益法人化する理由は…）主眼はスポンサーとのスムーズなやり取りのため。  
（対して、UOFJは…）一義にJOAとの関係強化。また組織規模も大きく異なる。
  - ◇ 少なからず参考になるのは間違いなし。

- 加盟員の減少

(対策)

特になし。「高校で陸上経験者も大学では他スポーツに…」

### (トライアスロン連盟)

- 加盟員の減少

☆ 十数年前は現在の 2 倍 (1,500 名ほど) の加盟数だったが、徐々に減少している。

(理由)

文化系サークルの人気増、学生のスポーツ離れに加えて初期費用 (10 万～20 万!) の負担。

(対策)

クラブ・サークルがない大学では個人で活動している人も多い…個人加盟の強化。

具体的には「加盟登録の簡易化：郵送からネットへ」「学連合宿の開催：合宿を開けない人向け」

☆ ここ数年のマラソンブーム、自転車ブームの「波」に乗り増加中。

☆ みんなガチ…ティアとの意識の違い。合宿できる大学→自分たちでガチ合宿、できない大学→ガチ学連合宿。

### 【インカレ】

#### (陸上連合)

- 例えば箱根駅伝。20m おきに補助員を配置する必要があるが、メディア放送による膨大なロイヤリティー収入のため余裕！

### (トライアスロン連盟)

- 距離が長く、陸上以上にコスト (金銭的成本、準備負担) が発生。

「市役所を通じてボランティアを募集する」「地元ローカル局に生放送してもらう」

対象道路一軒一軒の宅に訪問して渉外を行う。

☆ 参加費は 12,000 円に抑えられている。

☆ 競技性の違いからテレビ放送は難しいが、部分部分に UOFJ と似た点はあるため、ボランティアといった事例は参考になる…かも。

### 【最後に】

同じスポーツ連盟として感じたのは、ティア全体で見た場合の競技への意識の低さ。

一人ひとりが真剣に競技を考えている→みんなガチ練する→インカレ盛り上がる→自ら発展する。UOFJ で例えるなら、全員がエリートクラスの技術・体力。

まあそれは置いといて、公益法人化やインカレ運営など参考になる所はあったので、今後の役に立てていきたい。